

西部公民館だより

発行 西部公民館
神ノ郷町吉町田12-1
TEL:68-7233

8月実績と9月計画

日 程	事 業 名 称	実 績	備 考
8/1(火)	自然観察と体験学習	済	
8/19(土)	公民館運営審議会(2)	済	
9/7(土)	神ノ郷町敬老会 (式典はありません)		
9/18(水)	すこやか講座(6) 交通安全教室		
9/29(日)	みんなで歩こう健康作り大会		

児童講座 自然観察と体験学習

8月1日(木)西部小児童を対象とした自然観察と体験学習を開催しました。

今回は、久しぶりに昼食を現地で作ることにし、6年生児童は自分たちのご飯を飯盒炊爨しました。初めて薪で火起こしして飯盒でご飯を炊くばかりでしたが、PTAの手助けもあり無事昼食のカレーにありつけました。6年生以外は風穴探索に出かけ風穴からの冷気を体験していました。当日は晴天で森林の中といえども気温は高く、道中で館長がバテていたようですが、児童は元気いっぱい戻ってきました。

6年以外のご飯は持参したガス釜で準備したのですが、何故か芯のあるご飯が出来上がっており児童が食べるのは少し硬いかなと思いましたが、皆おいしいとカレーを食べてくれました。

昼食の後は、皆で川遊びをし、水鉄砲などで元気よく遊び無事帰ってきました。今回参加して頂いたPTA、子ども会の役員の方皆さん、昼食作り、子どもの監視と色々ご協力ありがとうございました。



6年生飯盒炊爨の様子



今回の昼食はカレーでした



集合写真 (今回は44名の児童が参加してくれました)



6年生以外は風穴探索をしました

城跡花いっぱい活動球根寄贈のお願い

令和3年度より始めた『スイセンの花いっぱい活動』は、本年、第4年次を迎えました。今回もこれまで同様、皆様方からの球根寄贈を起点として活動を推進していきます。ご協力、参加のほどよろしくお願いします。

『上ノ郷城跡花いっぱい活動』
10月26日(土) 10:00 雨天順延10月27日(日)

★スイセン球根寄贈のお願い (花の色・種類は問いません)

寄贈受付期間: 10月1日(火)~10日(木)

受付場所: 西部公民館駐輪場

【水仙球根投函コンテナ】へ

※お名前、分かれば花の色をお知らせ下さい。



令和5年度植え付けた水仙



平成31年植樹のしだれ桜

みんなで歩こう健康作り大会案内

西部公民館・西部小学校コラボ企画

コース

ラリーコースを歩いて白龍の滝まで登ろう

西部公民館出発

8:30



白龍池

9:00



ひじり山登山道
入り口 9:30



白龍の滝

9:50~10:20

西部公民館到着

11:30



白龍池

11:00



ひじり山登山道
入り口 10:40

開催日 9月29日(日) 8:30 西部公民館出発

参加申し込み 9月20日(金) 西部小児童は学校に提出、それ以外の方は公民館に申込み用紙を提出ください。

申込み用紙は西部公民館に用意してあります。

《参加資格》

★小学3年生以上の市内の皆さんどなたでも参加できます。

★小学2年生以下のお子様は保護者同伴で参加下さい。

★参加費用200円/人です。

※無事戻ってきた方にはアイスクリームを用意しています。

問合せ先

: 西部公民館68-7233

くりんバス乗車券割引販売

西部公民館においてみかんの丘くりんバス乗車券12枚綴り1,000円の物を今回特別に500円で販売します。1人5冊60枚まで購入できますので、みかんの丘くりんバスを利用されている方、この機会に利用してみようと思われる方は西部公民館にてお求め下さい。

販売開始は9月3日(火)からです。数量限定で先着順に販売します。無くなり次第販売終了とさせていただきますのでお早めにお求めください。

村祭りを楽しもう（赤日子神社例大祭）

（旧拝殿）



（不明）



（2ヶ所）



（4隅）

赤日子神社旧拝殿の瓦

空に赤トンボが舞う頃、各地区では赤日子神社の例大祭に向け、ちゃらぼ太鼓等の練習が始まり太鼓の音が聞こえてきます。公民館だよりもこの時期に祭りを盛り上げたり、赤日子神社のことを知り又興味を持って頂きたく記事を載せています。今回は旧拝殿についてです。旧拝殿は写真の建物で令和三年に老朽化が著しく取壊されましたが、その後に公民館がお願いして歴史的な建物の瓦を頂き保存しています。この建物については大正五年に小江の東海社から出版された坂田明さんの『蒲郡』という本に詳しく出ていますので転記します。

『現在の神社は寛永三年（一七〇六年）の建立で前の社殿は慶安二年（一六四九）であって棟札に再興としてある。就て思うに永禄五年（一五六二年）上之郷城焼落の際其の火が社殿に及んだといふ傳は真に近い、参考としては、城は当社の乾隅の丘上である。又寛曆十一年（一七六一年）建立せられた拝殿の棟札に前の拝殿がカヤブクなることが記してある。依って落城の節焼失した社殿も最も火を呼び易い茅葺であつたらしく推定される事である』と書かれています。ここから旧拝殿の瓦についてですが神社の責任役員さんから頂いてから汚れを洗い落としていくと『三笠吉田瓦町住人于時寛曆十一歳二月吉日同国宝飯郡上之江村 瓦工藤原氏榎田治三良』と刻み込まれており又彩色が施され力感あふれた姿形です。ここから拝殿の瓦は一七六一年に豊橋の榎田と言う方が制作したことがわかり、旧拝殿も一七六一年の再建であること又蒲郡という本に書かれている年代が正確であることが分かりました。岡崎では瓦職人の系譜は研究者に整理されつつありますが、豊橋は整理されておらず榎田がどの様な方がわかりません。陸路か海路で運んできたと思われるが当時の方々の神社への思いが伝わってきます。この瓦は神社にもあり、役員さんをお願いして見せて頂いたら如何でしょうか。大祭には多くの方のお参りを願います。

（小林）

鵜殿氏の研究のこぼれ話(13)

常香と上綱について （石井 文雄）

『蒲郡町誌』に、常香の言葉が二回出ています。これは、人名でしょうか。

○神ノ郷に来て城を構へたのは、紀伊熊野新宮供僧常香の後裔で、南北朝の頃、宗良親王に帰順したる鵜殿藤太郎長門（長将の父）である。

○寛永系図に先祖は紀伊熊野の住人常香の孫なりといふ。

鵜殿氏の先祖の名前が、常香という人で、紀伊の熊野新宮の供僧をつとめる僧であったと解釈できます。熊野新宮は、昔は神仏習合で、僧侶もいたのだらうと考えれば、話は終わってしまいます。仏教用語で、常灯と常香は、仏を供養するために、灯明と薫香を絶やさないことです。新宮の本地仏に薫香を奉仕する僧が、鵜殿氏の先祖の姿だったのでしょうか。

高野山の職制について『金剛峯寺年中行事』第三に、次の記事を見つけました。

○内談義御最勝講を成満して以後、寺務検校までの間を上綱といふ。

これは高野山で、更に昇進すると寺務検校執行法印大和尚位ということで、最高幹部の僧官です。熊野での上綱は、意味が違います。熊野別当が頂点で、次に権別当や修理別当があります。藤原実方の子孫が別当を世襲しましたが、鎌倉時代の弘安七年に三十一代別当の正湛が還俗して宮崎氏を名乗り、形骸化していた別当は実体を失います。

熊野別当と何らかの由緒がある世俗の武士が、別当に代わって熊野地方を合議で統治します。新屋・芝・宮崎・滝本・矢倉・中曾・蓼島の七人を、七人の上綱と呼びました。応永八年に、芝定頼・中洲氏勝・滝本長則・箕島宗重・樟行村・宮崎定範らが上京して、官位を得た記録があります。彼らの中に、鵜殿氏はいません。強いて上綱につなげるなら、矢倉氏が明神山城を築いて、鵜殿村に屋敷があった伝承に頼るしかありません。

戦国時代になると、新宮十郎行家の子孫を語る堀内安房守の一族が、上綱の勢力を駆逐して自ら熊野別当の再興と自称し、豊臣政権に承認させました。鵜殿氏は、その家臣でした。

蒲郡北地区再編説明会

7月30日(火)西部公民館にて市役所職員より蒲郡北地区再編説明会が開催されました。

当日は公民館2Fホールが満席になる人出でした。

職員より小学校、保育園、公民館移転に関する説明があり、その後質疑が行われました。

今回が第一回の地元への説明会で、第二回が10月に開催される予定です。



（1）全体計画

- 概ね10年
- ① **西部小学校が北部小学校へ一旦移転する**
西部公民館・西部保育園を北部公民館・北部保育園に機能を移す
 - ② 西部公民館・西部保育園・西部小学校解体
 - ③ 西部公民館・西部保育園・西部小の跡地に新中部中を建設
 - ④ 新中部中での教育スタート
中部中の跡地で新複合施設建設
 - ⑤ 複合施設完成
(公民館・保育園・小学校・児童クラブ・特別支援学校)